

事前評価チェックシート

計画の名称： つがる市の下水道における防災・安全対策の実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 ・下水道事業計画に基づく整備は概成しており、今後は効率的な管理・運営を図ることとして下水道事業計画との整合性はとれている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標整合性）	
I. 目標の妥当性 ・効率的な管理、運営と地域住民の生活環境の改善及び公共水域の水質保全を目的とした下水道施設の長寿命化計画の目標を立てる。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 ・下水道施設長寿命化計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 ・定量的指標は、下水道処理場、管渠及び電気設備の長寿命化対策状況を的確に捉えており、効率的な管理運営に適した指標である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 ・事業内容は効率的な下水道施設の管理・運営に係わる事業としており、計画の目標を整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 ・下水道処理場、管渠における長寿命化対策により、施設全体の持続的な機能保全及び効率的な管理・運営を図ることができる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 ・地域毎に住民説明を行い、下水道事業に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携による事業効果発言の確実性）	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

・他事業である集落排水事業、合併浄化槽事業と連携し、つがる市全体の汚水処理整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指すこととしている。

○